

日 時 平成28年6月21日(火) 午前10時 開 議

出席議員 (15人)

1番 北山一衛	2番 三上廣大
3番 高橋美紀子	4番 今大介
5番 工藤禎子	7番 後藤秀憲
8番 工藤和行	9番 大久保朝泰
10番 大溝雅昭	11番 工藤和子
12番 福士幸雄	13番 工藤俊広
14番 村上啓二	15番 中田博文
16番 村上隆昭	

欠席議員 (1人)

6番 佐々木 隆

出席要求による出席者職氏名

市 長 高 樋 憲	副 市 長 有 馬 喜代史
総 務 部 長 成 田 耕 作	企画財政部長 阿 保 正 一
健康福祉部長兼 福祉事務所長 五十嵐 茂 幸	農 林 部 長 玉 田 純 一
商工観光部長 松 井 良	建 設 部 長 三 上 亮 介
市民環境課長 工 藤 隆 彦	財 政 課 長 鳴 海 淳 造
税 務 課 長 佐 藤 寿	国保年金課長 木 村 斉 吾
福祉総務課長 千 葉 毅	介護保険課長兼 地域包括支援センター長 青 木 金 光
農 林 課 長 兼 バイオ技術センター所長 中 田 憲 人	商工観光課長 佐々木 順 子
都市建築課長 樋 口 秀 仁	上下水道課長 今 優
農業委員会会長 木 立 康 行	選挙管理委員会 委 員 長 山 田 明 匡
選挙管理委員会 事 務 局 長 山 谷 博 文	監 査 委 員 廣 瀬 左喜男
教 育 委 員 会 委 員 長 村 上 良 子	教 育 長 阿 保 淳 士
教 育 部 長 兼 市民文化会館長 成 田 秀 範	黒石病院 事 業 管 理 者 柿 崎 武 光

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成28年第2回黒石市議会定例会議事日程 第4号

平成28年6月21日(火) 午前10時 開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 報告第7号 黒石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 第3 報告第8号 黒石市税条例等の一部を改正する条例制定について
- 第4 報告第9号 平成27年度黒石市一般会計補正予算(第6号)について
- 第5 報告第10号 平成27年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- 第6 報告第11号 平成27年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第4号)について
- 第7 報告第12号 平成27年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算(第2号)について
- 第8 報告第13号 平成27年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第2号)について
- 第9 報告第14号 平成27年度黒石市水道事業会計補正予算(第2号)について
- 第10 報告第15号 平成27年度黒石市下水道事業会計補正予算(第3号)について
- 第11 報告第16号 平成28年度黒石市一般会計補正予算(第1号)について
- 第12 報告第17号 黒石市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第13 報告第18号 権利の放棄について
- 第14 報告第19号 権利の放棄について
- 第15 報告第20号 権利の放棄について
- 第16 報告第21号 権利の放棄について
- 第17 報告第22号 権利の放棄について
- 第18 報告第23号 平成27年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 第19 報告第24号 平成27年度黒石市一般会計事故繰越し繰越計算書について
- 第20 議案第50号 黒石市遺児入学祝金等の支給に関する条例を廃止する条例制定につ

いて

- 第21 議案第51号 黒石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第22 議案第52号 黒石市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第23 議案第53号 平成28年度黒石市一般会計補正予算（第2号）
- 第24 議案第54号 平成28年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 第25 議案第55号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 第26 議案第56号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

出席した事務局職員職氏名

事務局 長	長谷川 直 伸
次 長	幾 田 良 一
次長補佐兼議事係長	村 元 裕
主 事	櫛 引 亮 兵

会議の顛末

午前10時02分 開 議

◎議長（北山一衛） ただいまから、本日の会議を開きます。

本日の議事は、議事日程第4号をもって進めます。

◎議長（北山一衛） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

7番後藤秀憲議員、10番大溝雅昭議員を指名いたします。

◎議長（北山一衛） 日程第2 報告第7号 処分第5号 黒石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。5番工藤禎子議員。

◎5番(工藤禎子) 今回の国保税条例の一部改正は、値上げの部分と軽減の部分と抱き合わせにあるわけなんですけれども、それぞれの対象の世帯数と金額をお知らせ願いたいと思います。

◎議長(北山一衛) 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長(五十嵐茂幸) 限度額のほうですけれども、まず、基礎課税部分のほうは145世帯から135世帯で10世帯の減、金額にして280万円の増です。それから、後期高齢の支援金の分のほうですが、55世帯から35世帯、20世帯の減、90万円の増。合計で30世帯の減で370万円の増収となる見込みとなっております。

それから、軽減ですが、5割軽減が930世帯から950世帯で20世帯の増、85万円の軽減の増になります。それから、2割軽減が730世帯から760世帯で30世帯の増、75万円の軽減増になります。合計で50世帯の増となり、160万円の軽減増となる見込みとなっております。以上です。

◎議長(北山一衛) 5番工藤禎子議員。

◎5番(工藤禎子) 差し引いたにしても大した金額ではない、100万円台くらいの増収くらいになるわけなんですけれども、そもそも国保会計がこの間仕組みとして破綻をしておりまして、結局、給付に見合って値上げしなきゃいけないということをくり返してきた。その根本は国の国庫負担を削ったために結局はそういう仕組みになって、払いたくても払えない、今、子供や若い人たちの貧困の問題だとか、先般のでは高齢者の貧困も出てきているというような、アンケート調査でもありましたように、そういう中では、そもそも国保会計の仕組みの破綻というふうなことを考えますので、そういう点から値上げでもありますので、反対をいたします。

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

討論に入ります。5番工藤禎子議員。

◎5番(工藤禎子) 済みません。継続で考えをしゃべってしまいましたけれども、そういう点で反対するものであります。専決とは言っても、やはり市民の皆さんに負担増になるものでありますし、国保会計そのものの仕組みの破綻で、抜本的な改善が必要だというような状況も含めて反対するものであります。

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

(「異議あり」と呼ぶ者あり)

◎議長（北山一衛） 御異議がありますので、起立により採決いたします。
本件については、これを承認することに賛成の議員の起立を求めます。

（起立多数）

◎議長（北山一衛） 起立多数であります。

よって、本件についてはこれを承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第3 報告第8号 処分第6号 黒石市税条例等の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、報告第8号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第4 報告第9号 処分第7号 平成27年度黒石市一般会計補正予算（第6号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。7番後藤秀憲議員。

◎7番（後藤秀憲） 49ページ、8款の土木費の中の15節のところに側溝舗装工事などの減が書いてありますけれども、2,500万円弱の減額ですけど、これについてちょっと内容を教えていただきたいと思います。それに、この側溝とか舗装の工事は何カ所あったのかも教えていただければと思います。

◎議長（北山一衛） 建設部長。

◎建設部長（三上亮介） 後藤議員にお答えします。工事請負費2,544万3,000円の減は、花巻・福民線路線2,500万円の未着手による減と、あとは各舗装、側溝工事の入札減になります。側溝、舗装の件数については、側溝が8路線、舗装が3路線、道路維持工事が4カ所、待避所設置工事が1カ所となっております。

◎議長（北山一衛） 7番後藤秀憲議員。

◎7番（後藤秀憲） 花巻・福民線の2,500万円ということですけど、これは前に、平成26年5月に経済建設常任委員会で視察に行ったところだと思うんですけど、これは予算つけて、またやめたということですか。これ、ちょっとおかしいと思うんですけど、やめた理由はどういうことなのかちょっと聞きたいですね。それから、議会にかけて予算つけてやめたということ、議会にも全然報告がないと思うんですけど、この点について理由教えていただければと思います。

◎議長（北山一衛） 建設部長。

◎建設部長（三上亮介） 本路線については、平成26年度5月に市議会の経済建設常任委員会で現場確認して認識している路線でございます。その年に調査、設計入りまして、実際行っております。そのあとの経緯としては、平成27年度に路線分の予算2,500万円、調査の結果、3年計画で7,500万円という計画組んでおりました。平成27年度に2,500万円の予算を計上したんですけども、同時に財源についても調査して進めていくということで、そういうふうに担当課では進めています。ところが、財源がなかったと。なかったんですけども、単独費で行うかといったときに、調査していた現場がそんなにまだ動きがないということがわかったものですから、そのときに見送るか、やるかという、そういう判断のときがあったんですけども、結局今回は

状況を見て見送ると。この背景には財政難の折もあって、見送るといふか、観測してるんですけども、亀裂とかが余り広がってないんであれば、広がった時点ですぐ着工できるようにという意味で2,500万円は使わないで、そういうふうに進めたんです。進めたんですが、何せ着工しなかった理由としてはそういうところなんですけども。

この2,500万円の路線の減額については、当初予算のときに予算特別委員会でも詳細に揉んでる経緯がございます。そうすると当然、当初予算に盛っていた予算が方針変えで使わなくなるとか、方針変えになったとかあれば、補正減額して議会のほうの議決を得るとか、あと、議会のほうに連絡してその方向を示しながら予算を余すとか、そういう対応をしなければならなかったものと考えています。今後は、そういう手続きをよくわきまえて踏んでいくということで、今、考えております。以上です。

◎議長（北山一衛） 4番今大介議員。

◎4番（今大介） 私のほうからも3点ほど質問させていただきます。45ページの3目の15節、再生エネルギーの工事費なんですけども660万円くらい減になってるんですけども、これの、なぜ減になったのかと、平成26年、27年の実績も、もしよければ聞きたいと思います。

そして次、46ページなんですけども、1目の13節、指定ごみ袋の製造なんですけども、ここも270万円くらい減になってるんですけども、減量化の効果が出てきているのか、ここもなぜマイナスになってきたのか聞きたいと思います。

3点目が57ページです。7目の19節、金平成園なんですけども、ここ建物の中も見たいという開放の要望も大変出てたんですけども、そちらのほうは進んでいってるのかお聞きします。以上3点です。

◎議長（北山一衛） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） まず1点目の工事請負費の663万9,000円の減額でございますけれども、再生可能エネルギーの蓄電池収容施設と安全柵を必要としなかったということで、六郷小学校と東英小学校でございますが、そのために減額したものでございます。当初は、その建物と安全柵を必要、場所がまだ決まっていなかったもので、そのように減額いたしました。それと、実績でございますけれども、平成26年度は社会福祉センターきずな、これが1億3,697万6,000円でございます。平成27年度が、東英小学校が3,335万1,000円、六郷小学校が3,435万3,000円でございます。

次に、指定ごみ袋等の246万円の減額でございますが、ごみ袋が予想より売れなかったということでございます。平成26年度から27年度の比較で約200トンの減額となっております。これは、

あくまでも町内に出すごみ袋に入れた分でそのぐらい減額になっているということでございます。以上でございます。

◎議長（北山一衛） 教育部長。

◎教育部長兼市民文化会館長（成田秀範） 私のほうからは、金平成園の件についてお答えいたします。昨年度に引き続き、ことしも3シーズン開園することとなっております。ただ、中の方については、園主がこちらに住んでからというふうな考えもあることから、今年度もそこはちょっと難しいという話を聞いております。ただ、いろいろ見に来ての方から中も見たいというふうな、去年のいろいろなお話もいただいているということを我々も伝えておりますので、そのことについては、ことし障子を開けて中を見れるような形にはしております。引き続き、我々は中見たいというふうなことの要望も園主の方に伝えていきますので、その辺の要望もいろいろ考えていただいている部分もありまして、今年度は離れの部分等を使って、市民茶会等も、今、話を進めているところでありますので、そういうふうなことから、どんどん進んで話がいい方向に展開していけばいいなというふうに我々も考えているところであります。以上であります。

◎議長（北山一衛） 11番工藤和子議員。

◎11番（工藤和子） 先ほどの花巻・福民線の件ですけれども、2,500万円。それ、当初予算に出たんですよね。それで議員全員で可決したわけです。それが結局、何にも報告もなく、今、減額ということになりました。そこが何か、我々議員とすればしっくりいかない思いがあります。それとですね、その線はあとやらないんですか。もしも、大雨とか土砂とか何とか災害あった場合は、そこはどうなるんですか。2点聞きます。

◎議長（北山一衛） 建設部長。

◎建設部長（三上亮介） 工藤議員の、議会のほうに何も連絡がなくて2,500万円の路線をカットしてしまったということについては、我々の予算の効率的な使用の仕方に目がいき過ぎて、そこちょっと欠けたところだったと思います。先ほども申し上げたように、議会で議決した予算については、特にこういう特定の認識している路線については、議会のほうに報告して協議してとか、減額してとか、同じ言葉になりますけれども、そういう手続きを踏んで今後は対応してまいりたいと思っております。

あと、この路線の今後のことについてなんですけれども、今、道路に100メートルほど傷口が入っています。あと、横の腹の土手のブロックにも割れ目が入っています。こういう傷口が広がらないかというのを、今、観測しながら進めております。ですので、去年の予算はカットしたんですが、今年度、もしもそういう傷口が広がっていると、そういうことがあれば、直ちに

対応すると、そういうことになります。以上です。

◎議長（北山一衛） 15番中田博文議員。

◎15番（中田博文） 29ページ、14款の3目です。健康増進事業費減額、それと、がん検診受診率アップ推進事業費とありますけれども、この内訳をお願いいたします。

それと、37ページ3目の19節ちとせ住宅団地住宅建設融資利子とありますけれども、どれぐらい現在残ってて、ことしあたりの売れそうな、注文的な問い合わせとかってというものはどういうふうになっているかお尋ねいたします。

それと42ページ、6目の臨時福祉給付金。減額になっておりますけれども、その内訳をお願いいたします。

それと48ページ、1目の19節、黒石市地元産業魅力度アップ事業90万円。それと、その下の黒石市新商品開発支援事業300万円。これ減額になっております。平成27年度が減額になって、この後の平成28年度に新たにまた予算計上されてるのが疑問がありますので、その流れ的なものも含めて説明をお願いいたします。

49ページ、2目の19節、人形ねぶた補助金減24万円。この内訳と、ことしあたり人形ねぶたがどのようになってるか、担当課は把握しているかどうか。というのは、聞こえてくるのは人形ねぶたが、ことしまた減るような話が聞こえてきております。去年あたりまでは6台くらいが人形ねぶた出たと思うのでありますけれども、ここの中の議員の方々、数名の方々が人形ねぶたをふやしていかなければいけない。そのためには新規の人形ねぶたに予算的なものを多めに措置していただいて、歯どめ的なものをしていかなければいけないということを、再三再四行政のほうに訴えておりますけれども、なかなか予算はつけられない。また、話がないからつけられない。逆に予算つけてふやすということを考えるべきであるということを提案してきておりますけれども、もしもまた人形ねぶたが減ることになるとなれば、黒石ねぶたのよさ、人形ねぶたと扇というものが、地域から見ても魅力あるねぶたまつりであるということでもありますので、それが消えていくということが非常に残念でありますので、その点も含めて答弁をお願いいたします。以上です。

◎議長（北山一衛） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） ちとせ住宅団地の件でございますが、全部で67区画ございまして、現在54区画売却しております。残り13区画となりましたので。そのほかにも問い合わせは二、三件ございます。よろしく申し上げます。

◎議長（北山一衛） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（五十嵐茂幸） 29ページの健康増進事業の減額の件ですけれども、各種事業実施してるんですけれども、補助率の変更によって金額が減額になったものがございます。それから、がん検診受診率アップ推進事業費ですけれども、これ平成27年度途中からの新規事業でありまして、がんの内容は、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5種類のがん検診でありまして、当初、途中からの事業なので市の単独でお金を出してたんですが、後から補助金がついたということで361万3,000円の増額ということになりました。

42ページの臨時福祉給付金の関係ですけれども、対象が8,098人、申請が7,540人。93.1%の方に給付をしてございます。一人当たり6,000円という内容になっています。以上です。

◎議長（北山一衛） 商工観光部長。

◎商工観光部長（松井良） 48ページの黒石市地元産業魅力度アップ事業、また、黒石市新商品開発支援事業の件でございます。この件ですが、これは加速化交付金の不採択になった部分がございます。これが国庫支出金の930万円のところでございます。この内容ですけれども、農業者向け食産業のセミナー等、また、東京等の商談会、こういうのを約25回見て、農業者のスキルアップと収入の向上を図ったものでございます。この一番下の新商品開発支援事業の300万円が、このとき不採択になったのでなくなったんですが、今回、これは大変必要な事業だということで、次の案件で出てきますように、中田議員おっしゃるように、専決処分したということでございます。これは補助金対象ではなく市の単独費で計上してございます。

それから、次のページの人形ねぶた補助金の件でございますが、平成27年度は6台に補助しておりまして、12万円かける6台ということでございます。それから、今年度の情報を聞いてるかということでもございました。何か1台ほど減る見込みで、5台くらいになるようなお話は伺っております。たしかに、人形ねぶたが減ってくるのは、黒石市の伝統、また、地域コミュニティの関連のまつりでもございますので、大変残念なことではございます。しかしながら、町内会の問題とか、また、会費等の問題もあると考えますので、その辺簡単に行政のほうでふやしてくれ、ふやしてくれとはなかなかいかないところもありますが、議員おっしゃるとおり、補助金の増額のお話だったと思うんですけれども、そういう方向は、今後、青年会議所も交えながら検討してまいりたいと思います。以上です。

◎議長（北山一衛） 15番中田博文議員。

◎15番（中田博文） 人形ねぶたの件に関して、ねぶたを出す団体ということになると、資金、それと人ということが一番だと思います。大きい新規に対しては50万円とか、最初だけ出しま

すよという、そういう何かがあると、じゃあ扇から人形に変えようとか、やめた団体も出そうという、そういう空気も出てくるのではないかなということで、今までもこの議場で同じようなやりとりされておりますけれども、最終的には財源がないということで終わっておりますので、再度また、そういうことも含めて考えていただきたいと思っておりますけれども、どのようなお考えがあるかお尋ねいたします。

◎議長（北山一衛） 商工観光部長。

◎商工観光部長（松井良） 補助金の交付要綱がございますけれども、これについても財政が伴うので大変なことではございますが、見直しも含めて検討してまいりたいと思っております。以上です。

◎議長（北山一衛） 12番福士幸雄議員。

◎12番（福士幸雄） 37ページ、5目の23節。これは国の交付金の問題ですけれども、300万円、そして925万円と返還金がありますけれども、この内訳についてお願いいたします。

それから、48ページ、青年就農給付金事業やられておりますけれども、これどのぐらい進展しているのか、その辺もお知らせいただきたい思います。

そして49ページ、工業誘致費とありますけれども、これ全く動きがないような感じがいたしております。今後、黒石において企業の誘致というものをどのように考えているのか、その辺も、お答えできる範囲でいいですからお願いいたします。

◎議長（北山一衛） 企画財政部長。

◎企画財政部長（阿保正一） 37ページの地方創生にかかわる交付金の返還金の件でございますが、まず、先行型の返還金300万円については、人口減少対策事業の中で1つ関係機関との調整の関係で未実施となった事業が148万7,000円ほどございましたので、そのほかの事業との精算で、トータル300万円ほど返還となっております。続いて、その下の地域消費喚起生活支援型の返還金、これは笑う品の券、笑品券と福祉商品券の事業の残額分となっております。以上です。

◎議長（北山一衛） 農林部長。

◎農林部長（玉田純一） 私からは、48ページの青年就農給付金の関係についてお答えいたします。現在、平成27年度末ですけれども、個人が35名、夫婦が3組給付を受けております。平成27年度は新規で個人が3名、新たに採択されております。ところが、途中でやめた方も二、三人おまして、ちょっと続けられない青年就農者もおりました。現状は以上です。

◎議長（北山一衛） 商工観光部長。

◎商工観光部長（松井良） 工業誘致費の中の企業誘致の関係、誘致企業との関係でございます。

黒石市は議員御存じのとおり、工業団地に空き地がございませんので、今、進出している企業を慰留する形で考えております。そのためには、市長のトップセールスを初め、3回以上も去年は行っていると聞いております。市は、県や弘前圏域定住自立圏と協力して、社会情勢の変化に対応した黒石市のPRなど検討しながら、誘致活動を継続して実施しております。以上でございます。

◎議長（北山一衛） 5番工藤禎子議員。

◎5番（工藤禎子） 30ページの4目の機構集積協力金交付事業費ですね。これが2,498万円という大きい金額を返しているわけなんですけれども、何か認められないものもあったのかどうか含めて、内容をお知らせ願いたいと思います。

それから34ページの5項の2目の雑入の851万8,000円の中身をお知らせ願いたいと思います。

それから39ページになりますけれども、2款総務費3項1目の19節です。通知カード、個人番号カードの関連のところ、どれくらい予算化したのに対して現在いくらかということ。先般、4月末までの各市町村のマイナンバーの申請はついていたんですけれども、通知カードが未交付の件数、それから、個人番号カードの申請した率ではなく件数でお知らせ願いたいと思います。

それから43ページの2目の児童措置費のところでお聞きいたします。子供の医療費の問題なんですけれども、前にも取り上げたように、就学前というのは県内で40市町村のうち4市町村残されているというふうに言いました。それで調べてみました。そしたら田舎館は6月1日から、中学卒業まで入院も外来も無料にしたそうです。それから、五所川原は議会でも出ていますし、今検討しているということと、あと大鰐は去年現物給付をやったばかりなので、今いまちょっと予算化は考えられないというのが大鰐の状況でした。そういう形で、だんだんこの問題は進んでいるので、どのような考えになっているのか、また変化が、このような状況の中で、考えの、検討していくという変化になっているのかお聞きいたします。

それから44ページの生活保護費なんですけれども、生活保護費が平成26年度末はわかっていますので、平成27年度末はどれぐらいになっているのか。多目に見てますので、減額が出るというのは当然なんですけれども、住宅費のところは唯一増になっているんですよ。そうすると、生活保護世帯の、申請も含めて、世帯の人のアパート住まいというのかね、自己所有じゃなく、そういう形でここがプラスになったのかどうか、ちょっとお知らせ願いたいと思います。

それから46ページの清掃総務費のところの、ごみ問題でお聞きしたいんですけれども、平成

27年度のごみの搬入については、可燃がふえたというふうになっています。ふえたということは、分別が進んでいないというか、分別の問題が大きいのかなというふうなことをお聞きしたいと思います。逆に不燃が減ったのも分別が行き届いて資源のほうに回されているのかということ減っているのか。どのように分析しているのかお聞きいたします。

それから54ページの指導費のところでお聞きいたします。ここは旅費が150万円ほど減になっていますので、何か行けなくなったことがあるのかどうかお知らせ願いたいと思います。それから、自閉症だとかADHD、あるいは学習障害などの発達障害を持つ子供が非常にふえているわけなんですけれども、大体小学校でも、文科省の調査なんですけれども、例えば小学校でも1割ほどの症状が、平均的なものですから、そういうふうに言われているんです。そういう人たちの、例えば薬を飲むことが非常に安定にもつながるといふふうにもなっているんですけれども、本市はどのような取り組みになっているのかお聞きいたします。以上です。

◎議長（北山一衛） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） まず、34ページの雑入でございますけれども、六郷小学校の爆発事故に対する財物保障保険、これが723万7,000円、それから公用建物の共済金が91万2,000円でございます。それに関しては、車両6台分、それから水稲5人分、農地に対しても5人分になってございます。

それから39ページの通知カード、個人番号カードの件でございますけれども、通知カードに関しましては、未交付世帯が199世帯でございます。5月末でございます。個人番号カードに関しましては、今のところ申請件数が2,040件、うち交付件数は1,642件でございます。

それから46ページでございますが、ごみの件でございますが、可燃の増に関しては個人搬入がふえているということでございます。また、不燃が減ったのはリサイクル量がふえていると、そのように分析しております。以上でございます。

◎議長（北山一衛） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（五十嵐茂幸） 44ページの生活保護の件ですけれども、住宅扶助が上がっているという要因ですけれども、限度額が3万1,000円から3万9,000円に上がったということで増額になってございます。それから平成27年度決算見込みですけれども、平成26年度に比べて約2,000万円ほど減る見込みとなっております。

子供の医療費無料化についてですけれども、これはいずれにしても市町村の格差があってはいけないものと考えております。年齢の引き上げについては、小学生まで拡充した場合3,

800万円ほどの増になります。今の市の財政負担がふえることから考えますと、容易に拡充できない状況にあるということを御理解いただきたいと思います。今後も重点要望事項として国会議員や青森県市長会等を通じて、国に対して引き続き対象年齢の引き上げを強く働きかけていきたいと考えています。以上です。

◎議長（北山一衛） 農林部長。

◎農林部長（玉田純一） 私からは、30ページ4目、農林水産業事業金補助金の機構集積協力金交付事業、2,498万1,000円の減の理由についてお答えいたします。

これは、ぎりぎりまで手続をしたんですけれども、対応したんですけれども、未相続地がありました。やはり未相続であった場合は、この交付要件に達しない、それが1筆でも2筆でもということであります。それから、雪前ですけれども、耕作放棄地を持っている方についても対象とならないという交付要件がありまして、それを満たさなかったことから、集積率低下による減額となっております。以上です。

◎議長（北山一衛） 教育部長。

◎教育部長兼市民文化会館長（成田秀範） 私のほうからは、54ページの指導費の旅費の減についてと、それから薬の状況、どうなってるかというふうなこと、2点についてお答えいたします。

旅費の減額につきましては、ALTの分の2人分の帰国分等を見ております。1年更新でありますので、その旅費を一応見込んでおるものです。平成27年度は1名だけ、ブライアンだけが帰国しておりますので、その分で旅費が減となっているものであります。あと、薬の件につきましては、専門員の方たちの指導のもとやってるものでありますので、指導課でどうのこうのというふうなことは、ちょっと把握はしておりません。以上であります。

◎議長（北山一衛） 5番工藤禎子議員。

◎5番（工藤禎子） 30ページの農地の集積なんですけれども、そうすると今後も含めてどのような、困難な状況もふえてなくて、あるようなのが現実でもありますので、どのように進めていくか、県の方針もあるでしょうから、それをお知らせ願いたいと思います。

マイナンバーのほうの未通知のもの、199世帯なんですけれども、これが今後減っていく、あるいはちょっと難しいところに来ていると。いろいろと調査もしたりしているでしょうけれども、これの中身、これからどういうふうに通達を届けるかということの中身もお知らせ願いたいと思います。それから申請のほうは、思ったよりも少ないというふうに感じているわけなん

ですけれども、例えばこれらはどういうふうに分しているのかお知らせ願いたいと思います。

ごみのところなんですけれども、個人搬入が多かったことが可燃がふえたことという、まあ一つの原因にはなるかもしれないけれども、これが全てなんでしょうか。今、分別が問題になって、押しかけ講座とか、行政のほうでも積極的にやっていますので、今一度分別を、さらに市民に徹底する、そういう段階というか、ちょうど機会になっているのじゃないかなと。ですから、こういう率も横ばいになっている状態にはなっていると思うので、その辺お知らせ願えればと思います。それから土曜日の午前中も搬入受入れというふうになったようなんですけれども、これがまた可燃や不燃との関係で、市民にしてみれば機会が多いということは出しやすいということにはなるでしょうけれども、その辺、業者向けだけが強いのか、それとも個人搬入も含めて多いので、月曜日に殺到するというのが困るからというようなことも書いてありましたけれども、ちょっとここがわかりにくい。可燃を減らす、不燃も減らす、そして資源をふやすというような点から見て、どういう考えなのかなというふうにも思いますので、もう一度お知らせ願いたいと思います。

◎議長（北山一衛） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） まず、マイナンバーの件でございますが、199世帯全て調べた結果、調査した結果、この分199世帯が残っているということでございます。今後は、総務省のほうでは既に廃棄してもいいということになっておりますので、そのようにしたいと考えております。それから、ごみの件に関しましてでございますけれども、いわゆる一日一人当たり20グラム減らせば、市の財政の貢献度というのが500万円くらいになるということで、当然そこら辺も伝えていって、もっとリサイクルに出せるものは出していただいて、押しかけ講座なり、もちろん市報なりでPRしていきたいと、そのように考えております。

それから、土曜日の個人搬入の件でございますけれども、これは、黒石地区清掃施設組合の件でございますので、答弁は控えさせていただきます。以上です。

◎議長（北山一衛） 農林部長。

◎農林部長（玉田純一） 私からは、今回の機構集積協力金交付事業の今後ということでお答えしたいと思います。

国、県では、やはり農地の集約を進めております。この事業については、出し手の方も受け手の方も交付金を受けられるというメリットがあり、また農地集積された方は営農の効率化が図られ、農業がどんどん進んでいくものと考えておりますので、要件を解消できるように、市

のほうでは相談に来た方に説明し、全て今までどおり事業を進めていきたいと考えております。以上です。

◎議長（北山一衛） 総務部長。

◎総務部長（成田耕作） 答弁もれございました。マイナンバーの交付枚数が少ないのではないかとございまして、今すぐに必要としてない人が多いと、そのように分析しております。以上でございます。

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、報告第9号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第5 報告第10号 処分第8号 平成27年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、報告第10号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第6 報告第11号 処分第9号 平成27年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、報告第11号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第7 報告第12号 処分第10号 平成27年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、報告第12号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長(北山一衛) 日程第8 報告第13号 処分第11号 平成27年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、報告第13号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長(北山一衛) 日程第9 報告第14号 処分第12号 平成27年度黒石市水道事業会計補正
予算(第2号)についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、報告第14号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長(北山一衛) 日程第10 報告第15号 処分第13号 平成27年度黒石市下水道事業会計補

正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、報告第15号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第11 報告第16号 処分第14号 平成28年度黒石市一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。13番工藤俊広議員。

◎13番（工藤俊広） 121ページ、2款総務費4項選挙費でお伺いたします。3,500万円ほどの経費をかけて文化会館で選挙を今回行われることになるわけですが、投票率の向上に向けて、黒石病院やその他の施設での投票、それに対する広報活動ですね。入院してる患者さんが投票ができるという事実を知らないまま投票が終わってしまったとかという、そういうことのないような取り組み、また、その他の介護施設等での選挙のあり方をもう少し拡充していただけないものかという、そういったご要望等があります。さらに、市役所4階でやったときの選挙の投票用紙の配付ですけども、今回のように2票制の場合、比例と選挙区がある場合、黒石は一度に投票用紙を配付しております、高齢者などの方から間違えて記載する、そういった例があるので、通常の投票と同じシステムで1票ずつ投票できるようにということを要望してきてあったわけですが、4階の場合は場所が狭いということで、これまでそれは見送られてきた経緯がありますけども、今回文化会館に移行することになって、それは可能になるのか、そういったところをお聞きしたいと思います。

◎議長（北山一衛） 選挙管理委員会事務局長。

◎選挙管理委員会事務局長（山谷博文） 工藤俊広議員の御質問にお答えいたします。病院とか施設に関しての投票の呼びかけということでございますけども、選挙のときに施設のほうに不在者投票ができますということで、その分のお知らせをして、病院内で申し込みいただいて、こちらのほうで申し込みがあれば立会人等を派遣して選挙を行うということで、今現在行っておりますので、病院側のほうでは丁寧な説明をしてやっているというふうに思っております。

次に、投票用紙の公布の仕方ということで、参議院選挙、2種類ありますので、以前そういう指摘もありましたけども、今回、市民文化会館のセンターホールに移って場所も広いということもありますので、投票用紙は別々に渡して、そういうふうな対応をする予定になっております。以上です。

◎議長（北山一衛） 13番工藤俊広議員。

◎13番（工藤俊広） ありがとうございます。今回、出先のネットワークの接続が可能になるということになりましたけれども、そういった施設での期日前投票という、そういったところまでは考えられないものでしょうか。

◎議長（北山一衛） 選挙管理委員会事務局長。

◎選挙管理委員会事務局長（山谷博文） まず、先日の一般質問の中で期日前投票システムを導入するという事になっております。私たちこれから初めてそれをやるわけなんですけれども、増設する上では、システム化のほかに期日前投票が増設できる場所があること、継続的に選挙の期日前投票所設置に協力していただけること、そのほかに、施設に関して、オンラインとか

の通信設備の改修ができるということが条件になりますので、そういった商業施設においても、保有する会社と管理者とかの協議が必要となりますので、そういったことをクリアしながらやっていかなければいけないのかなということでございますので、今の段階ですぐにというわけではなくて、今後、将来的に増設できるように目指してまいりたいというふうに考えてございます。以上です。

◎議長（北山一衛） 2番三上廣大議員。

◎2番（三上廣大） 私のほうから1点、122ページ6款農林水産業費、これは米生産対策費の部分ですね。6目13節、黒石米活用検討実験事業委託料についてお伺いしたいと思います。これの委託料の内訳と、この事業の進み具合とか状況というものをお伺いしたいと思います。

◎議長（北山一衛） 農林部長。

◎農林部長（玉田純一） 委託の内容につきましては、5月に市長始め、みんなで田植えしたんですけれども、田植え前からの準備と、稲刈りまでの途中の管理を含めて、南黒おこめクラブのほうに作業を全て委託しております。その中で、クロの草刈り等については、委託の中身ではあるんですけれども、農林課の職員も現場を見まして、一緒に草刈りを手伝って農業を覚えると、そういう作業もしております。以上です。

◎議長（北山一衛） 5番工藤禎子議員。

◎5番（工藤禎子） 121ページの選挙管理委員会のところでお聞きいたします。青森県は投票率も全国最低のほうなわけなんです。それで、どう本市としても投票率を上げるかという取り組みをしているわけなんですけれども、これまでの参議院選挙での、前回と前々回の投票率、そして、もしわかれば20代の投票率がそのうちどのぐらいになるかお知らせ願いたいと思います。

それから、18歳19歳の有権者数がどれぐらいになるのか。それから、期日前の徹底をすることでも投票率を上げる大きな中身になると同時に、先ほど工藤俊広議員も言いましたけれども、病院だとか施設などでの不在者投票、あるいは障害者などの郵便投票、これらも非常に周知徹底をすると、また伸びるのではないかなというふうにも思いますので、その点どうでしょうか。

◎議長（北山一衛） 選挙管理委員会事務局長。

◎選挙管理委員会事務局長（山谷博文） 工藤禎子議員の御質問にお答えいたします。まず、参議院の過去の投票率につきましてはですが、3年前の参議院選挙の当市の投票率が45.46%です。6年前が51.63%となっております。20代の投票率ということですが、今ここに資料ございませんので、御容赦願いたいと思います。

あと、今回参議院選挙における18歳19歳ということですが、まず詳細を言えば、6月1

日現在では、登録者数が2万9,150人となっております、選挙における選挙人名簿も、6月15日に作成した時点で2万9,979人と、829人増となっております。その中で、18歳19歳の人数につきましては802人となっております。その中で18歳が423人、19歳が379人となっております。

次に、不在者投票の啓発ということでございますけれども、まず先ほど病院のほうにつきましては、指定された施設のほうに文書を送って選挙ができることを周知してくださいということは、重ねて申し上げているとおりでございます。郵便投票ということになりますと、郵便投票ができる場合については、ある程度の条件がございまして、選挙管理委員会のほうに登録が必要になりますので、そういった方々が申し出ていただければ、こちらではできるようにしたいというふうに考えてございます。以上です。

◎議長（北山一衛） 5番工藤禎子議員。

◎5番（工藤禎子） そういう点では、不在者投票、郵便投票も含めて、毎戸に回してるのには書いてはいるんですけども、理解も含めて再度また広報なりでわかりやすくやればいいのかというふうには思いますけれども。広報が間に合うかどうかはあれですけども。とにかく投票率を上げるために全力を挙げていただきたいと思いますので、その点。たしかに病院施設等にも不在者お願いしても、やるかやらないかというのは本人の自主的なものにもなるので、だけれども、宣伝を、いつでも投票したいという投票できる環境を整えておく必要があると思いますので、なるべく多くの人ができるように周知していただきたいと思います。

それから122ページなんですけれども、ここは加速化交付金のところで、ならなかった、削った分のが、あんまりわかりにくい形で3目のところの13節とか16節のところに入っているようなので、そこでお聞きいたしたいと思いますが、6次産業化ということで議会でも取り上げられて、規格外のニンジン、アスパラ、トマトのレトルトスープを開発、サンカツさんの協力も得て、それで29日試食会があるわけなんですけれども、なぜスープで売り出してみようかな、開発してみようかなというふうに思ったのか、考え方と流れについてお知らせ願いたいということと、あと、傾斜地を活用したワインなんですけど、この事業は組織づくりも含めてどのように進めようとしているのか、お聞きしたいと思います。

◎議長（北山一衛） 農林部長。

◎農林部長（玉田純一） まず、スープにした考え方ということですけども、裾物を活用するというので、見た目はよくないものですから、形がわからないものということで考えて、ま

た、地元にある業者の方の協力ということで、いろいろ模索した結果、サンカツさんの協力も得られるという、そういう準備が整いましたのでスープに向かったということです。

次に、ワイン用ブドウの苗木養成ということですがけれども、まだ組織化までには至っておりません。今、秋植えを予定しておりますけれども、秋から黒石の山間地域における、どの木が一番いいかということで、今回4種類考えておるんですけれども、内容としては、白のブドウを2本、赤のブドウを2本ということで、その木がどういう形でこれから、当然数年かかる事業だとは考えております。どの木が黒石に適しているか、まずそれを判断するのが先だと考えておりました、それ以降、組織化等々進んでいくものと考えております。以上です。

◎議長（北山一衛） 11番工藤和子議員。

◎11番（工藤和子） 今の工藤禎子議員の質問と似た部分がありまして、この春ですか、酒粕を使った商品づくり、開発というか、それを若手の職員たちが何名かでやってるそうですけれども、現在どのような状況になっているのか、また、どういうものを開発しているのか、ちょっとお尋ねいたします。

◎議長（北山一衛） 関連ですか。補正予算の関係。

（「6次産業のほうの工藤禎子議員の質問と」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 議案書の中の質問項目でない限りは……。

（「それでは、よろしいです。ごめんなさい」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 11番工藤和子議員。

◎11番（工藤和子） 123ページの商工のほうの19節で聞きます。黒石市新商品開発支援事業の中の、この内容。そして、今言った、酒粕がどれぐらい進んでいるのかお聞きます。

◎議長（北山一衛） 商工観光部長。

◎商工観光部長（松井良） お答えいたします。この補助金の内容ですが、黒石市地元産業魅力度アップというのは、中央等での商談会等に伴う出展費補助でして、上限が30万円で、2件分想定しております。そのほか、下の商品開発支援事業は、先ほど中田議員も落とした分をお聞きになったんですが、これは、100万円を上限に3件ほど、黒石の新しい商品のもの、こういう出展する方に支援していくという補助内容でございます。それと、酒粕の進み具合ということですが、これについては、若手職員のプロジェクトチームがありまして、商工観光課で窓口になってございます。それで、4月21日に、まず菓子組合とお話を申し上げまして、酒粕入った商品をお願いしたいと。市長の血のこもった説得で、組合のほうでも腰を据えてやりましょうということで、もう酒粕を配付していると思います。それで、こみせまつり等、また、10月1日に予定してます地酒まつりの際に試作品でも出すのか、販売できれば一番いいという形

で考えてます。そのほかにいろいろな案が出まして、酒粕ペーストにするとか、化粧品の何か、いろいろ若い職員の柔らかい頭脳で考えてみたいですので、工藤議員も一つ御期待ください。終わります。

◎議長（北山一衛） 14番村上啓二議員。

◎14番（村上啓二） 121ページの黒石シルバーワークプラザにちなんで、シルバー人材センター。報告書を見ると大分結果がよくないわけでした。議案にないけれども、従前から見て。何を言いたいかというと、鳴り物入りでシルバーが発祥して数年経過したら、大変残念な結果に今あるわけけれども、それについては、担当課として、行政として、どう分析してどう考えているのかの要因としては何々があるのかお聞きしたいと。

◎議長（北山一衛） 商工観光部長。

◎商工観光部長（松井良） 確かにシルバー人材センターでは財政的に余裕がないことは伺っております。しかしながら、高齢者の意欲を発揮してもらうために、黒石では国の補助基準に上乘せした形で補助をしてまして、シルバー人材センターのほうでも、黒石市のほうには大変感謝したいというお話がございます。いずれにしても、団塊世代が退職してだんだんふえてきまして、年金もらうのが遅くなるのに伴いまして、シルバーでの稼ぎでは孫さんとかに何も買ってやれないというお話も伺ってます。ですから、普通の給料もらうような定職についているということで、会員もぐんぐん右肩下がりで減ってきてるのは確かですが、人材センターとしては、これを好転させるためにいろいろなことを考えてるようで、黒石市としても注目してまいりたいと思っております。以上です。

◎議長（北山一衛） 14番村上啓二議員。

◎14番（村上啓二） 大変難しいということは知っていながら質疑するんだけど、まあ世の中が不景気だと。しかし、退職する人がふえていくと。しかし、シルバーはじり貧という。非常に想定できないような状況にあるわけで。その打開策は極めて難しいと思うが、しかしやらなければならないと思います。要するにシルバーに就職できるような状況の環境をつくっていかないと、やっぱり人がいないとどうにもならないというような状況ですから。いま一つは、引き抜かれてる可能性、いわゆる使用人とシルバーから派遣されている方々が引き抜かれると、直接契約すると、こういうような状況もままあるわけだというふうに聞いている。ですから、それなりにシルバー人材センターの使用部署では手は打ってあるだろうけれども、そういうことを防ぐようなことをしていかないと。行政当局も頭ひねって、引き抜かれないように、すると何か上がっていくのかなという気もします。ですから、そこら辺についても、直接関係ないんだけど、行政として、例えば市長さんの話が一番いいと思うが、市長に案があればお話ししていただければ大変ありがたいと思います。

◎議長（北山一衛） 市長。

◎市長（高樋憲） シルバー人材センターの件に関しては、時代が、もうシルバー人材センターを国が進めた時代と今と全然変わってしまったというのが一番であります。なぜかと申しますと、シルバー人材センターが動き始めたときは、定年制が60歳でありました。しかし今は、民間でありますと65歳が当たり前。下手をしますと70歳まで現役で働ける環境になってしまっている。その際、今のシルバー人材、黒石だけでなく多分全国的な問題だと思えますけれども、労働賃金自体が民間とシルバーとでは余りにも格差が出てきてしまっている。ですので、これは国自体がシルバー人材センターのあり方自体をもう一度しっかり見直して、体制づくりをしていかなければ、この問題解決にはつながっていかないのではないかなというふうに感じております。いずれにしましても、今現在あるシルバー人材センターに関しましても、我々行政サイドで応援できることは、いろんな面で知恵を出しながら、いろんなものを検討していきたいというふうには考えております。以上です。

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、報告第16号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第12 報告第17号 処分第15号 黒石市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本件については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。
質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

お諮りいたします。

本件は承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、報告第17号 専決処分につき承認を求めるの件は承認することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第13 報告第18号 権利の放棄についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

以上で、報告第18号 権利の放棄についてを終わります。

◎議長（北山一衛） 日程第14 報告第19号 権利の放棄についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

以上で、報告第19号 権利の放棄についてを終わります。

◎議長（北山一衛） 日程第15 報告第20号 権利の放棄についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

以上で、報告第20号 権利の放棄についてを終わります。

◎議長(北山一衛) 日程第16 報告第21号 権利の放棄についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

以上で、報告第21号 権利の放棄についてを終わります。

◎議長(北山一衛) 日程第17 報告第22号 権利の放棄についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

以上で、報告第22号 権利の放棄についてを終わります。

◎議長(北山一衛) 日程第18 報告第23号 平成27年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書
についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

以上で、報告第23号 平成27年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書についてを終わります。

◎議長(北山一衛) 日程第19 報告第24号 平成27年度黒石市一般会計事故繰越し繰越計算書についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

本件については議決事項ではありませんが、この際質疑を許します。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

以上で、報告第24号 平成27年度黒石市一般会計事故繰越し繰越計算書についてを終わります。

◎議長(北山一衛) 日程第20 議案第50号 黒石市遺児入学祝金等の支給に関する条例を廃止する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(北山一衛) 日程第21 議案第51号 黒石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(北山一衛) 日程第22 議案第52号 黒石市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長（北山一衛） 日程第23 議案第53号 平成28年度黒石市一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(北山一衛) 日程第24 議案第54号 平成28年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

(「省略」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 省略の声がありますので、省略いたします。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 質疑を終わります。

討論に入ります。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議長(北山一衛) 日程第25 議案第55号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。市長。

◎市長（高樋憲） 議案第55号は人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてであります。人権擁護委員として次の者を推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものであります。

住 所 黒石市大字石名坂字櫻清水15番地15

氏 名 佐 藤 佳代子

生年月日 昭和23年11月18日

略歴は別記のとおりであります。

◎議長（北山一衛） お諮りいたします。

本案については委員会の付託、質疑、討論を省略し、直ちに採決いたしたいと思っておりますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認め、委員会の付託、質疑、討論を省略し、直ちに採決いたします。

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（北山一衛） 御異議なしと認めます。

よって、本案はこれに同意することに決しました。

◎議長（北山一衛） 日程第26 議案第56号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。市長。

◎市長（高樋憲） 議案第56号は人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてであります。人権擁護委員として次の者を推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものであります。

住 所 黒石市大字西馬場尻字村元15番地

氏 名 種 市 誠

生年月日 昭和27年11月11日

略歴は別記のとおりであります。

◎議長（北山一衛） お諮りいたします。

本案については委員会の付託、質疑、討論を省略し、直ちに採決いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認め、委員会の付託、質疑、討論を省略し、直ちに採決いたします。

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、これに同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(北山一衛) 御異議なしと認めます。

よって、本案はこれに同意することに決しました。

◎議長(北山一衛) 以上で、今期定例会に上程されました議案の審議は全部終了いたしました。よって、会議を閉じます。

市長から御挨拶があります。市長。

登壇

◎市長(高樋憲) 平成28年第2回黒石市議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

このたびの議会におきましては、平成28年度黒石市一般会計補正予算(第2号)や条例案件などの25議案につきまして、慎重な御審議の上、原案どおり御承認並びに御議決いただき、まことにありがとうございました。議決いただきました予算、条例などについては、当初の目的を達成するため、適正・的確に執行してまいります。

さて、歴史や伝説で結ばれている縁から、昭和41年に宮古市と姉妹都市の締結をしておりますが、ことしで節目の50周年となり、市民交流を主体としたさまざまな記念事業を計画いたしております。ぜひ、市民の皆様にも多数の御参加をいただき、各分野において交流を深め、お互いの歴史や文化などを理解し合い切磋琢磨することにより、両市のさらなる発展につながることを期待しております。これからも、誇れる故郷くろいしをつくるために、黒石市の将来を見据えた市政運営に努めてまいりますので、市民及び議員の皆様方のより一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

(拍手)

降壇

◎議長(北山一衛) これにて平成28年第2回黒石市議会定例会を閉会いたします。

午前11時33分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成28年6月21日

黒石市議会議長 北山 一 衛

黒石市議会議員 後藤 秀 憲

黒石市議会議員 大溝 雅 昭